

第5・6学年 (たんぽぽ2組) 国語科学習指導案

令和4年9月14日(水) 2校時  
たんぽぽ2組担任 森野尚子

単元の目標

- ◎互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりできる。(思 A(1)オ)
- 思考にかかわる語句の量を増やし、話や文章の中で使うことができる。(知(1)オ)

学年	5年		6年	
単元名	対話の練習「どちらを選びますか」 (「いちばん大事なものは」)		対話の練習「いちばん大事なものは」 (「どちらを選びますか」)	
P	P 96～97 本時 1/2		P 94～95 本時 1/2	
ねらい	・互いの立場を明確にしながらか、討論する手順を確かめ、自分の考えについて理由をわかりやすく話すことができるようにする。			
学習過程	①今日の学習のめあてをつかむ。 <b>(め)</b> 一つの問題を二つの立場で考え、理由を考えて話し合おう	T	T	①今日の学習のめあてをつかむ <b>(め)</b> 相手の立場と自分の立場を理解し、理由をつけて話し合おう
	②5年の教科書P96～97の学習の進め方を読んで確かめる。 ※読み方がわからない字や語句があったら質問するよう声かけをし、教科書が正しく読めるようにする。	自	自	②6年の教科書P94～95を学習の進め方を読んで確かめる。 ※読み方がわからない字や語句があったら質問するよう声かけをし、教科書が正しく読めるようにする。
※支援	③今日は、5年生の教材「どちらを選びますか」について二人で話し合うことを知る。			
	④猫と犬のどちらを薦めるかを決め、その理由を簡単に考えワークシートに書く。 ※自分の考えをまず自由にノートに書かせる。	自	自	④5年生が選んだものとは、反対の立場でその理由を簡単に考えワークシートに書く。 ※適切な言葉が出てこないときには、言葉を添えながら考えを書かせる。
⑤二人の意見と理由を話し、質問したり、意見を言ったりする。 ※参観者に二人の意見を聞く前の人数を確認し、二人の話し合いによってどう変わるかで、説得力のある理由を考えるための意欲付けをする。 ※話し合いが続かない場合は、担任が質問したり意見を言ったりして、二人の考えを引き出すようにする。				
⑥更に説得力のある理由を思いついたら、ノートに書き加える。 ※思いついた理由を忘れて、アドバイスが欲しかったりしたときは、参観の教師に尋ねてもよいことを知らせる。				⑥更に説得力のある理由を思いついたら、ノートに書き加える。 ※書きたい理由が思い出せないときには、話し合いの中で出ていた意見を思い出させるような声かけをする。
⑦最終的な意見を言い、校長先生に判定をしてもらう。				
⑧ふりかえり ※ねらいにそった振り返りができるように「自分の考え」「相手の考え」「理由」という言葉を入れて振り返りを書かせる。 ※それぞれの発表を聞き合った後、今日の学習についての価値づけを行い、次時への意欲付けをする。				
⑨次時は6年生の「一番大事なものは」を中心に学習をすることを知る。				
配慮事項	※思考にかかわる語句を提示し、考えをまとめるときに使えるようにする。 ※具体的な事例や自分の体験などを入れて話すことで、説得力が増すことを伝え、例と一緒に考える。 ※相手がなぜそのように考えるのか、理由や背景が理解できるように助言する。 ※相手の考え方を受け止めた上で自分の意見を言うと、話し合いがスムーズにいくことを伝える。			
評価	評価 自分の立場について、わかりやすく説得力のある理由を話したり、相手の立場をうけとめなが聞いたりすることができたか。			